

八雲町CS連絡だより

第8号

発行日:令和5年3月17日

発行元:八雲町コミュニティ・
スクール推進グループ



町内の各コミュニティ・スクール(CS)運営の充実・深化、及び連携や情報の共有を図ることを目的として、八雲町教育委員会では年に2回、「八雲町コミュニティ・スクール連絡協議会」を開催しています。

今号では、2月22日(水)に開催された協議会で報告された各中学校区での取組状況をご紹介します。



▲八雲町CSについて
(八雲町HP)

あなたの地域は？



各中学校区での取組状況

八雲中学校区



(八雲中・八雲小・浜松小)

【令和4年度の取組実績】

- 学校運営協議会が主催し、校区内の小学生を対象とした長期休業中の自主学習会を開催。運営・学習支援にあたっては八雲中学校・八雲高校の生徒や地域住民からも協力をいただいた。

教えた側にも
やりがい、学びが！



【令和5年度の予定】

- 学校運営協議会において、これまで以上に地域からの率直な声を聞くことができるよう、小グループに別れた熟議を実施していきたい。

野田生中学校区



(野田生中・東野小・野田生小・山越小)

【令和4年度の取組実績】

- 小小連携(小学校間の連携)の取組として、校区内の小学生が「いも掘り」「稲刈り」といった体験活動の場を地域人材の協力を得ながら共にすることができた。(保護者・地域住民も参加！)

野田生ならではの
学習素材ですね！



【令和5年度の予定】

- CSの取組を校区内すべての教職員が共有できるよう、「校区CS全体会(仮称)」を開催する予定。

落部中学校区



(落部中・落部小)

【令和4年度の取組実績】

- コロナ禍により地域学校協働活動も制限を受けたが、地元企業・農家の協力を得ながら、受け継がれている落部ならではの体験活動を充実させることができた。

詳しくは次のページで！



【令和5年度の予定】

- 令和4年の学校運営協議会では、学校運営にも切り込むようなテーマで熟議を行うことができた。「落部を誇りに思える子を育てたい」という学校と地域共通の願いを、来年度の学校経営方針の中核に据えるとともに、会としてどのように関わっていけるか考えていきたい。

熊石中学校区



(熊石中・熊石小)

【令和4年度の取組実績】

- 学校運営協議会では「ダイヤモンドランキング」という手法を用い、熊石の子どもたちに身につけさせたい力について熟議を実施。参加者それぞれから活発な意見をもらうことができた。

おもしろい手法！

【令和5年度の予定】

- 学校と地域との熟議の場を継続し、「育てたい熊石の子ども像」を固めていきたい。
- 学校運営協議会には、委員以外にも様々な肩書を持つ地域住民から地域の想いを聞かせる。今後も多様な人材を招き、地域の声を学校運営に取り入れていきたい。

学校運営協議会って
どんなことをしているの？

落部中学校区 学校運営協議会レポート



保護者や地域住民、学校教職員などから構成されている「学校運営協議会」。
そこでは実際にどのようなことが行われているのでしょうか？
今回は落部中学校区(落部中学校・落部小学校)の学校運営協議会に参加させていただきました。

令和4年度第2回学校運営協議会

12月8日(木) 18時30分~19時30分(落部小学校理科室にて)



1. 令和4年度前期学校評価アンケートについて
2. 熟議(落部の子どもたちについて)
3. その他意見交流

落部小学校・中学校で一貫した教育活動を展開していくにあたり、地域の皆さんが落部の子どもたちにどう育ててほしいと考えているか、意見交換する場面を設けました。

落部の子どもたちには……

- ・どのような仕事についてほしいか(どのような大人になってほしいか)？
- ・そのために、どのようなことができるようになってほしいか？
(どのような力を身につけてほしいか)

どのような仕事についてほしいか
(どのような大人になってほしいか)

自分がやりたい仕事
見つけてほしい

(落部でなくても、八雲町
外でも)どこで働いても
OK!(自分の道を!)

外で色々な経験をして
落部に帰ってきてくれたら…

農業や漁業など、
落部ならではの職業を

身につけてほしい力

チャレンジ精神

一般常識(マナー)

自分で考える力

最多!!
コミュニケーション力

最低限の学力

ネットを使いこなせる力

進学や就職などで落部を出てしまう子もいるかもしれない。でも……
「生まれ育った落部に誇りと愛着を持ち、落部を好きだと思う子になってほしい！」
という共通の想いが学校と地域にあることが、熟議を通して分かりました。

今回の熟議で
共有したこの想いを…

令和5年度の落部小・中の学校経営方針に生かしていくことを確認

落部地域 道路標識・路面標示の改善

落部の交通事故を減らせ！

ある日の学校運営協議会

最近、落部では子どもの交通事故が増えています…。どうしたら減らす(防ぐ)ことができるでしょうか？

校長先生

落部中学校区学校運営協議会では、子どもの交通事故が増えてきたことを課題ととらえ、会として通学路の危険箇所点検を実施しました。

ドライバーにとって、子どもたちにとって、どこが、どのように危ないのか…**実際に見て回ってみることで分かることもたくさん！**

役場をはじめとした関係機関に相談し、校区内のさまざまな箇所の道路標識・路面標示を変えてもらうことができました。

気付いていましたか？

たとえば…こんなところが変わりました！

ポイント①

地域の皆さんができることを持ち寄ってくれた！



私たちにもできると、ありますよー！

＼クイツとね／



道路標識のポールを変更

(旧功鯨前交差点)
ドライバーからは死角になり見えにくかった一時停止の標識を、見えやすいようにポールを曲げて設置し直してもらいました。

ポイント②

学校運営協議会として取り組んだ！



個人で動くより、この組織(団体)として行動を起せば、状況を変えやすいかも！

路面標示の追加

(落部レクリエーションセンター前ほか)
子どもたちが通学路、生活道路としてよく利用する道路には、新たに「とび出し注意」の路面標示を加えてもらい、ドライバーへの注意喚起を促しました。

＼子どものとび出し注意！／



and more ...

その後、学校運営協議会として通学路の危険箇所点検を実施

実際に歩いてみると…

ここ危ないね！

関係機関に働きかけることで、交通安全を呼び掛ける道路標識や路面標示の設置につながりました。

子どもたちにとって安心・安全な道路は、**地域にとっても安心・安全な道路。**
学校運営協議会での取組が、**住みよい地域づくりにもつながった事例でした。**

どうもありがとう！





Report



町内で実施された、地域と学校が協働した活動について、その一部をご紹介します。ご協力いただいた地域の皆さん、ありがとうございました！

ここも海の中
だったんだ！



化石採集体験学習（八雲小学校）

6年生が上八雲地区を訪ね、八雲町郷土資料館の学芸員の指導のもと、化石採集体験を行いました。



子どもたちは120万年前の太古の地層の前に貝化石を採集することで、八雲の地がかつては海の中にあったことを実感していました。

みんなが幸せに暮らせる社会をつくるために、自分にはどんなことができるかな？



福祉体験（山越小学校）

6年生がコミュニティホーム八雲の職員の方から、バリアフリーについて教わりました。

ヘッドホン・重りを身に付けての高齢者体験や車いす体験、講話を通し、介護という仕事の必要性について認識を新たにすることができました。



自転車の点検まで
してくれてありがとう！

交通安全教室（落部小学校）

落部小学校が春に実施している交通安全教室は、歩行練習と自転車訓練を行っているのが特徴です。



教室前には、地元の岡島自転車から自転車の点検をしていただくと共に、落部駐在所からは交通安全のお話をいただきました。

熊石ならではの！



校外学習（熊石小学校）

熊石を学ぶことを目的として、1～3年生が門脇漁業部、北海道栽培漁業振興公社を見学しました。

熊石を代表する海産物である「うに」と「あわび」について子どもたちは学びを深め、地域に対する誇りを高めていました。



バックナンバー

「八雲町CS連協だより」のバックナンバーは、八雲町ホームページからご覧いただけます。

八雲町 CS連協だより



【発行元】八雲町コミュニティ・スクール推進グループ（八雲町教育委員会内）
〒049-3112 八雲町末広町154番地 ☎0137-63-3131